

令和7年度  
石北小だより  
と しょ かん  
図書館だより

2月号 R 8.2  
下野市立  
石橋北小学校

まだまだ寒い日が続きますが、2月は冬ならではの物語を読んだり、心あたまる本に出会ったり、自分の好きなことを深めるチャンスです。また、今月は節分やバレンタインなど、季節の行事もたくさんあります。行事の由来を知る本や、友だちや家族に気持ちを伝えるヒントになる本もおすすりめです。

たどくしょう

多読賞 をめざそう！

今年度の多読賞は2月18日(水)までに低学年(80冊以上)・高学年(70冊以上)読んだ人が対象となります。新しい本も入ってきたので、たくさん借りてください！



ふゆやす ~冬休み~ おやこどくしょ うちどく しょうかい 「親子読書(家読)をしよう」を紹介します

1年1組 児童

- 『なかがまがいれば』 あいはら ひろゆき//さく いいじま あり//え 岩崎書店 2006.11
- 「がんばればなんだからできる。なかがまがいっしょならなんだからできる。そうだよね!!」
- こまっているともだちがいたら、ゆうきをだしてこえをかけたり、おうえんしようとおもい
- 仲間が励ましてくれると、辛いことでも頑張ることができる。お友達のことを応援できる子になってほしい



2年1組 児童

- 『おしりたんてい むらさきふじんのあんごうじけん』 トロル//さく え ポプラ社 2015.8
- 「たからはさがしましたがまだ何もいけつてませんよ。」「ど、どういことですかの」むら足がピタリと止まりました。「じむしょにいらしたときからブンブンにおっていましたよ。にせもののおいがね」「あなたはむらさきふじんではありませんね」
- よんでるときに むらさきふじんは たいようのしたで 1年中はたけしごとをしているのに なんて ひやけひとつしてないのかな ともおいました。 やっぱりにせものでした。それでも へんそうがじょうずだ ともおいました。
- おしりたんていさんと花奏が同じ目線だったことは驚きました。推理力を日常でも活かしてくれたらうれし



3年1組 児童

- 『と・も・だ・ち』 ロブ ルイス//さく まつかわ まゆみ//やく LEWIS ROB 評論社 2001.10
- 「みんながみんな、おなじじゃないのよ」ママがいました。「もしおともだちをつくりたいのなら、あいてのありのままを、だいじにおもってあげなきゃ、ね」
- さいしょアンディーは自分のことしか考えてなかったけど、さいご一人ぼっちになってママのいうとおりに「ありのままを、だいじにおもってあげなきゃ」という気持ちがわかってきてすてきなだと思いました。」
- 改めて、自分ばかりではなく相手の事を考える大切さを学べる一冊だと思いました。親もまた子供たちの「個」を大切にしようと思いました。



4年1組 児童

- 『カプセルトイのひみつ』 梅屋敷 ミタ//まんが 学研プラス 2022.9
- 「1.金型を作る 2.パーツを形成する 3.パーツをカットする 4.色をぬっていく 5.組み立てる 6.カプセルの中に入れる 7.品しつをチェックする 完成!」
- カプセルの中身をきかいで作ると思っていたので、まさか手さぎょうだったのが知れてよかったです。
- 自分の興味があることをマンガを用いて社会科見学しているように学べる本でした。これからも色々なモノや職業を本を通じて学んでほしいと思います。



5年1組 児童

- 『あらいくんとプタのぶたどころさん』 たかやま えいこ//作 つちだ よしはる//絵 金の星社 2004.10
- 「くまがいくんはぼそりとよみました。「ぼくは、もっとでかくなりたい」また、どっしりとすわりま「かっこいいや」あらいくんは、わくわくしました。いまよりもっと大きくなったくまがいくんにあいた。そのあと、みんなの作文を、大切に大きなカンにしまって、校庭のさくらの木の下にうめました。」
- わたしは、あらいくんが「かっこいいや」と言っているのがすごくやさしいと思いました。くまがいくんの文を読んで今よりもっと大きくなったくまがいくんにあいたくなったとか、本当に大きくなったくまがいくんにあいたいのが分かって友達いでものすごくこのクラスは全員やさしいなと思いました
- この本を読んで、いろんな子の感情が感じれる所がいいなと思いました。優しさや、嬉しさを感じられる本を読



6年1組 児童

- 『サンタクロースはきつくる』 薫 くみこ//作 小松 咲子//絵 ポプラ社 2003.11
- 「サンタクロースなんていやしない」「サンタクロースなんてどこにもいない」
- 信じる心とゆめをうしなつた町のひとたちだったけど1人だけゆめを信じている女の子がいて、女の子のおかげでみんなゆめを信じるようになったのが、とてもすてきなお話だと思いました。
- ゆめを信じ続ける女の子の素直な心が、キセキを起こすステキなお話でした。大人になるにつれて忘れてしまいがちな信じる事の大切さに気づかされました。

